



羅臼町議会だより



しれとこ

第1回定例議会	3 / 5 ~ 3 / 16	2 ~ 5
一般質問		6 ~ 9
議会の動き		10

令和2年

第163号

4月25日



しれとこ羅臼国保診療所待合所

令和2年 第1回定例議会

第1回定例議会が3月5日～16日までの12日間の審議期間で開催された。

新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大していることを踏まえ、議員・職員全員マスク着用という異例の中、第1日目に人事案件同意1件、専決処分1件を原案通り可決、引き続き各会計補正予算、条例等の上程説明、町長・教育長行政執行方針が示された。第2日目は4議員の一般質問を行い、執行方針や町民からの要望、行政の課題を取り上げ町政を質した。引き続き、理事者等から予算案の説明を受け、予算審議特別委員会を設置して審査した。

第3日目以降は各常任委員会での審議。予算審議特別委員会での各会計予算及び関連条例について審議され、最終日に補正予算5件、新年度予算6件、条例改正5件、工事請負契約2件、町道路線廃止及び認定1件、追加議案2件の計21議案を原案通り可決した。

※万円以下四捨五入

令和元年度一般会計専決処分

土木費	町道維持補修及び除雪に要する経費	3,000万円
補正額 3,000万円		総額 46億3,200万円

令和元年度一般会計補正予算

議会費	議会議員に要する経費	△235万円
総務費	体育文化振興基金積立金	100万円
	町有バスに要する経費	266万円
民生費	町営住宅に要する経費	△1,112万円
	防災行政無線管理に要する経費	20万円
	福祉・介護職人材確保に要する経費	△65万円
	特別会計繰出金に要する経費	△83万円
衛生費	児童手当等支給に要する経費	△281万円
	国民年金事務に要する経費	11万円
	葬斎場・霊園管理運営に要する経費	26万円
	特別会計繰出金に要する経費	△2,199万円
農林水産業費	乳幼児当医療費助成事業に要する経費	5万円
	合併処理浄化槽普及事業に要する経費	△561万円
	野生鳥獣保護管理に要する経費	20万円
	し尿処理に要する経費	△469万円
土木費	水産振興等に要する経費	160万円
教育費	橋りょう長寿命化に要する経費	△1,212万円
	小学校の管理に要する経費	180万円
公債費	幼稚園の管理に要する経費	△330万円
	公民館管理運営に要する経費	△3,091万円
	体育館管理運営に要する経費	△1,378万円
	給食センター管理運営に要する経費	△28万円
職員費	町債元利償還金	△474万円
	給与費	△230万円

補正額 **△1億1,490万円** 総額 **45億1,711万円**

国民健康保険事業特別会計補正予算

諸支出金	特定検診審査等負担金償還金	15万円
	国民健康保険診療所特別会計繰出金	2,199万円

補正額 **2,214万円** 総額 **10億7,484万円**

介護保険事業特別会計補正予算

総務費	介護保険業務に要する経費	25万円
保健給付費	高額介護サービスに要する経費	60万円

補正額 **85万円** 総額 **4億7,685万円**

後期高齢者医療事業特別会計補正予算

後期高齢者医療広域連合納付金

△99万円

補正額 **△99万円** 総額 **6,833万円**

一般会計補正予算（追加議案）

土木費

町道維持補修及び除雪に要する経費

1,000万円

補正額 **1,000万円** 総額 **45億2,711万円**

条例制定

- (一) 羅臼町公民館条例を廃止する条例制定
- (二) 羅臼町図書館条例制定
- (三) 羅臼町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
- ※災害援護資金の償還条件の変更による改正
- (四) 羅臼町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ※放課後児童支援員資格要件、配置基準の変更に伴う条例改正
- (五) 羅臼町営住宅設置及び管理条例の一部改正
- ※民法の改正に伴う連帯保証人規定の変更に伴う改正
- (六) 羅臼町中小企業振興資金融資条例の一部改正
- ※融資額の拡大に伴う改正

工事請負契約の締結

- ・ 羅臼町町営住宅緑町団地建設工事（Aブロック）
- 一般競争入札

契約金額

198,550,000円

契約の相手方

- 酒井・加我・佐久間特定建設工事共同企業体
- 代表者 酒井建設
- 代表取締役 酒井 孝幸

舗装工事

指名競争入札

契約金額

195,140,000円

契約の相手方

- 鈴木・小川・小野経営建設共同企業体
- 代表者 鈴木産業(株)
- 代表取締役 鈴木八之助

町道路線の廃止及び認定

〈廃止する路線〉

- 幌萌公園線
- （幌萌町五番地五地先）
- 幌萌町五番地四地先

〈認定する路線〉

- 幌萌公園線
- （幌萌町五番地四地先）
- 幌萌町五番地一地先

人事案件

根室町村等公平委員会委

員の選任につき同意を求めらる。

住所

- 野付郡別海町別海宮舞町一四七番地七
- 氏名 半田 雅代 氏
- 任期 令和二年四月一日～令和六年三月三十一日まで

議員発議関係

一、「民族共生の未来を切り開く」決議

町長の行政報告から

- (一) 火災の発生について
 - ・ 一月十七日知昭町店舗兼住宅から出火。消防車三台が出動する。
 - ・ 二月一日栄町住宅のボヤ火災の通報で消防車一台が出動する。
 - ・ 二月八日海岸町倉庫火災発生。消防車三台が出動する。
- 計三件の火災が発生。
- (二) 「知床国立公園保護規制計画に係る計画区域の拡張及び変更」について
- ・ 国立公園境界に接するキリベツ川及びシヨウジ

川の下流域318haが第三種特別地域に、ルサ川河口付近8haが第一種特別地域に変更された。

これによる陸域での保護規制地域の総体面積が38,954haとなった。

(三) 「農山漁村女性活躍表彰」について

三月六日付で羅臼漁業協同組合指導漁業士の田中郁子氏が、農山漁村女性活躍表彰「優秀賞」となる水産庁長官賞を受賞する。

(四) 「新型コロナウイルス」について

二月二十五日に当町において新型コロナウイルス感染症対策本部を設置。幼・小・中・高の各教育現場の臨時休校など感染拡大防止に取り組んでいる。咳エチケットや手洗い等のご協力をお願いします。

地域経済にも影響を及ぼしていることから、羅臼町として独自の対応策を検討していく。

予算審査

特別委員会報告!!

令和2年度

各会計予算が決定

令和2年第1回定例会で付託された新年度予算（一般会計・特別会計）について3月11日から13日までの3日間にわたり予算審査特別委員会を開催し、慎重かつ熱心に審査が行われ、委員全員一致により原案通り可決・決定された。
 予算審査特別委員長 高島 譲二

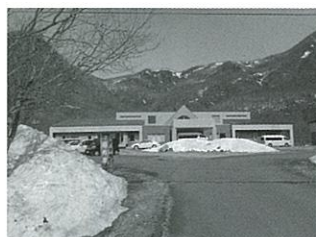
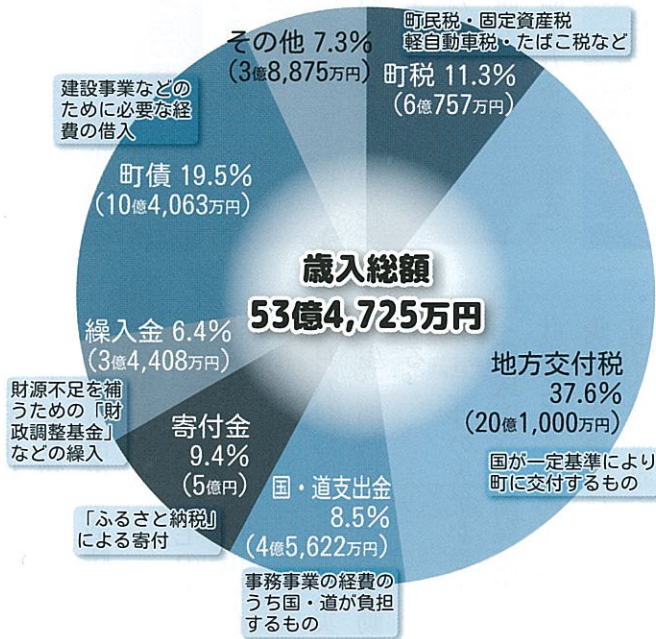
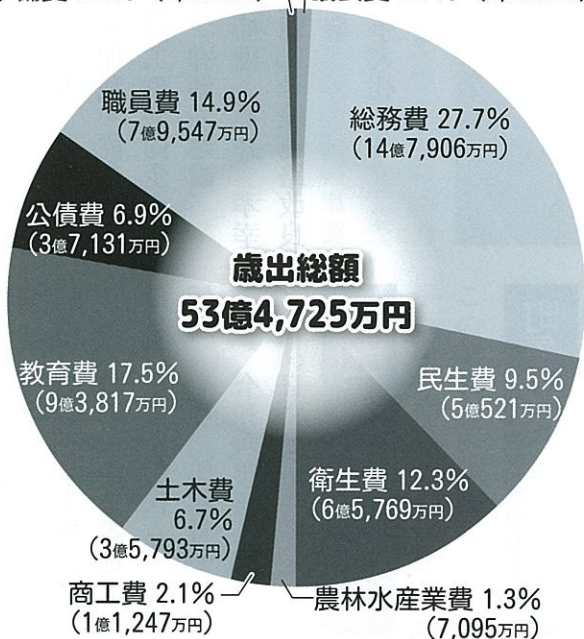
(万円以下四捨五入)

各会計総額 **74億6,802万円** 前年度比**16.1%増**

▶ 一般会計（歳入・歳出）

	本年度予算額	前年度比
一般会計	53億4,725万円	23.6%増

予備費 0.4% (2,000万円) 議会費 0.7% (3,899万円)



老人福祉センター補修工事
1,335万円
屋根改修



高規格救急自動車更新1台
5,033万円



無線共聴施設設置工事
2,188万円
(ギャップフィラーアンテナ)
受信範囲：共栄町・礼文町の一部



町営住宅等長寿命化工事
2億5,440万円
(緑町団地断熱改修工事)
(緑町団地水洗化工事)

今年の主な事業

▶特別会計（歳入・歳出）

	本年度予算額	前年度比		本年度予算額	前年度比
国民健康保険事業	10億3,446万円	1.1%減	後期高齢者医療事業	7,323万円	5.1%増
介護保険事業	4億7,466万円	1.4%増	国民健康保険診療所事業	1億9,704万円	2.2%増

▶水道事業会計（歳入・歳出）

		収入予定額	支出予定額	資金期末残高
水道事業会計	収益的収入・支出	2億1,126万円	2億1,126万円	3,957万円
	資本的収入・支出	5,583万円	1億3,012万円	

◆主な質疑内容◆

◎Ⅱ質問 ①Ⅱ回答

テレビ中継局に要する経費

2,188万円

◎共聴施設整備工事の内容について

◎ロシアからの電波障害によるテレビ難視聴地区解消のため

防災行政無線デジタル化整備事業委託料 978万円

◎家庭受令機も更新となると思うが、方式変更も検討できないか伺う。

◎アナログ方式は令和四年で終了する。検討していく。

水産振興等に要する経費

1,218万円

◎今年新規事業三件となっている。今後要望があれば助成対応できるか。

◎要請があれば前向きに検討していきたい。

知床らつす海洋深層水給水施設に要する経費 77万円

◎現在四十％程度の給水率となっているが、解決策について伺う。

◎原因調査を北海道開発局にお願している。

知床未来中学校四階ハイサ

イド窓改修工事について

198万円

◎新校舎が修理されることになるが、工事の手落ちはなかったのか。

◎実際に新校舎に入校して初めて確認された。

町民体育館改修工事について

6億円

◎改修内容について伺う。

◎各階に耐震壁、コンクリート壁により補強し今後三十年間の使用を考えている。

◎公民館併設の考えは。

◎公民館併設は無理と考えているが、改修工事に併せて会議室等を設けている。

給食センター補修工事について

3,062万円

◎幼稚園児の給食は可能か。

◎幼稚園児については、年少組さんは二学期からとなるが、四月から実施できる。

国民健康保険診療所事業会計について

◎へき地診療所調整特別交付金申告漏れについて

◎二十六年の制度改正による申告漏れがあることが判明。二十六年から三十

年分まで9,556万円の過少申告となった。過少申告分については関係町村と連携して国・北海道に要望している。

◎料金改正の時期について伺う。

◎今年から検討を進め、令和三年四月からの実施を考えている。新料金体制は、町民の理解を得ながら実施していきたい。

公民館廃止条例について

◎廃止に伴い関係団体と充分協議したのか。

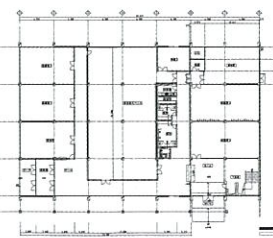
◎関係機関との協議では色々な意見が出たが承認していただいた。今後とも公民館のあり方については協議を続けていく。

老朽化した水道管の更新について

◎漏水する箇所が相当数あり、水道管の更新は計画的に進める必要があると思うが如何か。

◎水道管を更新した結果、更に漏水を始めた箇所が生じている。また、水道施設も老朽化しており、全体的な更新計画を検討していきたい。

給食センター補修工事 3,062万円



町民体育館耐震改修工事 6億円



給食センター補修工事 3,062万円



農林漁業体験実習館 多目的トイレ・スロープ新設工事 865万円



ごみ収集車更新事業1台 1,829万円

行政の考えを問う

4人の議員による10件の質問が提出されました。

令和2年

第1回定例議会

一般質問

高島議員 町長

町長 町長

新型コロナウイルスの対策について

町長 町長

高島 議員



また国は小中高を臨時休校することを決定しました。

現時点で我が町での感染者は確認されておりませんが、今後拡大が予想されます。

新型コロナウイルス感染症の対策について伺います。

① 幼小中高が臨時休校となっている為保護者にかかる負担について

② 医療介護施設では、マスク、消毒液が必需品ですが、備蓄について

③ 医療、救急スタッフのための防護服、ゴーグル等の完備は十分か

④ 町の経済は観光客減少や国や道からの自粛要請により大変な影響を受けているが、支援策についての考えは

湊屋 町長

は、観光客を受け入れる事



業者の感染予防、発症後を含めた注意喚起について、

国からの通知をもって行っている。また、二月二十五日「羅臼町新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、独自の対応として、

高齢者の集まりの中止、幼稚園も休園し、児童の子育て支援センター、放課後児童クラブも休みとした。

更に、郷土資料館、図書館、国後展望塔を臨時休館とした。現時点ではウイルス自体の詳細がわからず、

国や道の要請を受け、まずは感染者を出さないよう対策を講じる。

① 園児については、三月五日から三月二十四日まで

の間七時三十分から十八時まで、各幼稚園で臨時預かり保育を開設し、小

学生については、羅臼校区は海岸町コミセンにて、春松校区については春日町コミセンにて三月九日から三月二十四日まで八時三十分から十八時まで臨時児童預かりを行う予定です。

② マスク、消毒液については現時点では残りわずかならうため増量する。

③ 防護服等については完備している。

④ 経済的支援策については、融資保証枠の拡大を図っていききたい。

高島議員その他の質問

SDGs（持続可能な開発目標）について

SDGs（持続可能な開発目標）とは

二〇一五年、九月国連サミットにおいて私たちの未来のために世界のさまざまな分野の環境を改善しようという意思をもとに採択された目標。

議員 井上
体育館耐震補強工事と共にエレベーター設置を

町長 エレベーター設置は物理的、財政的に困難

井上 章二議員



ます。
エレベーターの設置を強く求めます。

湊屋 町長

この度、体育館耐震補強工事が行われ、三階に観覧席、障害者専用スペースが設置されますが、エレベーター設置は何故出来ないのか。
老人や障害者が当たり前に生活を送れる社会にしてほしい。
必要なのは、実効性の有る一視同仁の施策です。それを実感出来る温かい羅臼、住んでいて幸せと思える羅臼町になることを願っています。

体育館の耐震補強工事にあたっては、予想される大地震に対し、その建物が必要な耐震性能となる様、柱と連続する壁を使った補強工事を選びました。よってエレベーターを設置することにより、構造体を変えたり、現存の体育館の外側に設置する事によって、面積を変えらるという事は出来ません。

その為、物理的にも財政的にも困難と考え、町内既存の施設を共用することにより、障害のある方や高齢者の皆様が利用出来るよう整備していきます。

議員 井上
指定緊急避難場所の施設整備と地滑り岩石の落下及び近隣町村との関係について

町長 指定緊急避難場所と指定避難所を指定している



質問

地震調査委員会が想定している、マグニチュード8以上の巨大地震を引き起こす恐れのある標津断層の活動期は不明とされていますが
一、避難場所は大丈夫か
二、地滑り、落石対策は
三、地震発生の際近隣との連絡、救援等はこの様になっているのか

湊屋 町長

避難場所は羅臼町老人福祉センターを指定、併せて民間四施設とも協定を結んでいる。

当町は標高差が大きく、崖崩れや土石流、地滑り等の災害が発生する恐れのある地域で、毎年度、道に要望して被害防止策を講じると共に、情報提供や啓発に努めている。

羅臼町地域防災計画に於いて相互応援体制、災害応急対策、近隣との連絡、救援等について管内一市四町に於いて提携し、防災基本

協定を締結している。
特に標津町とは、災害発生時や緊急事態発生時等に於ける漁港使用、地域の防災、減災能力を向上させるため、二町間による協定も締結している。

避難場所は、住民が避難する指定緊急避難場所として三十五ヶ所、一時的に滞在させる事を目的にしている指定避難所は二十四ヶ所を指定。



加藤議員
「ふるさと納税」事業の充実対策について

町長 返礼品自主基準の見直しを検討中

加藤 勉議員



質問

「ふるさと納税」事業が地域経済を支える商工振興施策として更なる充実を図るとしているが、返礼品の充実強化策と、資金を活用した商工対策についての方針について伺います。

湊屋 町長

現在のふるさと納税の返礼品については、「知床・羅臼まちづくり寄付条現実施要綱」で「地域の資源を活用しているもの」「町内

の事業者で加工・製造・製品化されているもの」となっています。国の地場産品基準の基本的な考え方では、

区域外で生産された原材料を、区域内で切断・調理・袋詰めしている加工品は返

礼品と認められますが、町の自主基準は国の基準より制限を厳しくして、地場産品のPRと消費、流通を意識して取り組んでいます。しかし、当町で水揚げされる水産物の減少や価格の不安定もあり、原材料の確保に苦慮されることから、

地場産品以外の原材料による返礼品については、事業者の意見を聴きながら、自主基準の見直しについて検討している。「ふるさと納

税」の資金活用については、その使い道として六つの政策メニューを用意しており、



ふるさと納税

「地域資源を生かした活力ある産業の町に関する事業」として特産品販売振興事業を活用しています。

当町の特産品の素晴らしさを全道・全国の消費者、事業者にかけてもらうには、まだまだ知名度が不足しており、PRを通して商工業の活性化を図っていきます。

加藤議員
生涯学習の推進について

公民館の今後について関係者等と検討していきたい

加藤議員
教育長

質問

生涯学習の拠点となる公民館が利用できなくなり、学校開放や代替施設で対応しているが、公民館が利用出来ないことによる弊害とこの状況がいつまで続くのかお伺いします。

和田 教育長

公民館の利用中止については、公民館、体育館の利用者に今後の利用や代替施設での調整を図ることをご理解を頂いています。

公民館が利用できなくなり一年が経過しました。異業種、異世代交流の減少、

団体活動の交流の減少などが聞こえてくるようになり、自主・自発的な各種学習からの町民離れなど、人を育てるコミュニティがなくなつたと認識しています。

今後も公民館、体育館利用者懇談会等を開催し、実態を把握する必要性を感じています。公民館の建設については、新たに建設できる財政状況にないという認識をしており、明確にお答えできませんが、今後の公民館について、関係者の方々と協議し、検討していかなければと考えています。



図書館

加藤議員その他の質問

ふるさと学習の推進について

田中議員

まちづくりの基本方向について

町長 各産業分野で事業を意図的に結び繋げていく

田中 良議員



せるためにA L Tを増員してコミュニケーション能力を身に付ける等の施策を考えているのか。

湊屋 町長

産業活性化の観点から強く進めていくこととしている。各事業の関連性は、漁業・観光・商工業ともに好循環を生んでいる。代表事例として「ふるさと納税事業」が挙げられ、来年度に向けても、寄付額五億円を目標として予算計上させて

質問
「地域を支える産業の活性化について」町長の考え方を伺います。

◎漁業・観光・商工業の活性化を目指しているが、令和二年度は重点的な取り組みや各事業の関連性はあるのか。産業振興審議会・産業プロジェクトの協議はどのような方向性を位置付けているのか。◎豊かな心を育む教育文化のまちについて、子どもたちの英語教育を充実させるために存在する事業を、



意図的に結び繋げていくことが重要であると考えています。

産業振興審議会、産業振興プロジェクトの協議の方向性は、産業の安定化と活性化に向けた取り組みとなるよう、各産業分野への波



及効果を意識した協議がなされており、現在も継続して推進課題に意見を頂きながら進めている。

また、町の既存施設などの充実による、各産業への波及効果を意識した内容について提案し、アンダー60、オーバー60において意見を頂き産業振興プロジェクトで審議されたところである。

このあと予定している産業振興審議会においても、各産業分野が関連性を強く意識し合いながら、多様な柔軟な考え方をもち、相互に良い影響をもたらすことに繋がられるよう、展開ができればと思っている。併せて、町の課題につきま



商工会女性部によるマスク作り

しても、共通認識を図りながら解決策に繋がられるよう進めていきたいと考えている。

田中議員その他の質問

一、羅臼町第七期総合計画の検証等について

一、羅臼町における教育・行政の基本姿勢について

・ 羅臼町学校運営協議会について

・ 「G I G A スクール構想」について

・ 生涯学習・芸術文化・スポーツの振興について

議会の動き

2月

- 7日 北方領土の日 根室管内住民大会（根室市）
議長
- 17日 参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会との要望・懇談会（根室市）
議長
- 18日 参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会来町（羅臼漁港等）
議長
- 21日 全員協議会
第3回議会改革特別委員会
- 26日 根室北部廃棄物処理広域連合議会 議長ほか
- 27日 議会運営委員会
- 28日 根室北部消防事務組合議会 議長ほか
根室北部衛生組合議会 議長ほか

3月

- 2日 第7回議会改革特別委員会プロジェクト
議員4名
- 5日 令和2年第1回定例議会（1日目）
- 6日 令和2年第1回定例議会（2日目）
- 9日 経済文教常任委員会
- 10日 総務民生常任委員会
- 11～13日 予算審査特別委員会
- 16日 令和2年第1回定例議会（3日目）
- 30日 議会だより編集特別委員会

4月

- 6日 第8回議会改革特別委員会プロジェクト
議員4名
- 7日 議会だより編集特別委員会 議長
- 13日 議会だより編集特別委員会
- 22日 全員協議会
- 23日 第9回議会改革特別委員会プロジェクト
議員4名



現在の感染状況が長引くと、六月の第二回定例会でもマスク着用になりそうな心配です。

我々議員も感染予防に努めますが、次回議会だよりではマスク着用議会の写真を掲載したいと思っています。

新型コロナウイルス感染対策に万全を!!

道内で確認された新型コロナウイルスの感染者数（居住管内別） 6日午後3時現在

※内訳は人口10万人以上の市の発表分のみ

石狩	97⑨	うち札幌市85 江別市2
オホーツク	23	うち北見市13
上川	20	うち旭川市10
釧路	12①	うち釧路市1
空知	8	
渡島	7②	うち函館市3
胆振	7	うち苫小牧市6
後志	5	うち小樽市4
檜山	3	
日高	2	
十勝	1	
根室	1	
留萌	0	
宗谷	0	
道外・国外	5	中国湖北省武漢市1 大阪府1 茨城県1 神奈川県2
合計	191⑨	退院者140人

●内は死者数で、うち3人は居住地非公表。感染者合計のうち3人は回復して退院後、再び陽性と確認された。

北海道新聞 令和2年4月7日付報道

北海道新聞四月七日の報道によると、新型コロナウイルスの国内感染者数は四千人を超え、死者は一〇七人に増えたとの事。上図は道内の状況ですが、全体で一九一人の感染者があり、亡くなった方は九人です。

私たちが暮らす根室管内では一人の感染者で、別海町・中標津町・標津町・羅臼町の北根室四町では感染者が発生したとの報道は現段階では出ておりません。

国は、四月七日に東京など七都府県に緊急事態宣言を発令しましたが、幸いにも北海道は外れていません。しかし、羅臼町を含む北根室四町での感染者が確認されていないからと言って、細心の注意を払う事を忘れずに、今後も警戒を続ける事が求められています。



三月の第一回定例議会は三月五日・六日・十六日の三日間開催されましたが、この定例議会のための関連会議は、議会運営委員会四回、常任委員会二回、予算特別委員会が三回あり、約二週間続きました。そしてその全ての会議では、初めてだと思えますが、新型コロナウイルス感染症対策で、参加者全員がマスクを着用しての会議開催となり、不思議な感覚がありました。

現在の感染状況が長引くと、六月の第二回定例会でもマスク着用になりそうな心配です。

我々議員も感染予防に努めますが、次回議会だよりではマスク着用議会の写真を掲載したいと思っています。